

令和3年9月15日

吉川福祉専門学校
校長 久田 晴實

令和3年度 第1回教育課程編成委員会報告の公表について

教育課程編成委員会による本校の「第1回教育課程編成委員会報告」を公表します。

1 委員名簿

委員長：久田晴實委員 副委員長：池上千恵美委員

(1) 外部委員

阿部 慎也	グループホーム サンパティオ 施設長
小湊 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 事務課長
山口 剛介	吉川市健康長寿部長寿支援課 課長
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

(2) 学校側委員

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
山本 晃市	同 事務長代理
田村 貴章	同 係長

2 教育課程編成委員会の開催状況

日時：令和3年8月6日（金）11時20分～12時20分

会場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：上記外部委員4名、学校側委員4名

3 委員会次第

開会

(1) 委嘱状交付

(2) 委員の紹介

(3) 校長挨拶

(4) 委員長選出

(5) 報告

① 令和3年度教育課程編成方針及び特色について

(5) 協議

① 今後の教育課程編成に向けて

② 授業内容等の改善及び工夫について

(6) その他

① 今後の予定

② 事務連絡等

閉会

4 第1回委員会議事要録

別紙のとおり

以上

令和3年度 吉川福祉専門学校 第1回教育課程編成委員会議事要録

令和3年9月15日

- 1 委嘱状の交付 省略
- 2 委員の紹介 省略
- 3 校長挨拶 省略
- 4 委員長選出 久田校長
- 5 報告事項
 - (1) 令和3年度教育課程編成方針及び特色について
- 6 協議事項
 - (1) 今後の教育課程編成に向けて
 - (2) 授業内容等の改善及び工夫について

外部委員及び学校側委員からの提言と質問事項等

- (学校) 教科目概要、教育理念、教育目標、人権意識、倫理観、これらを考えながら教育課程の編成に当たっている。令和3年度入学生からの教育課程の主な変更点は、人間と社会の領域である「人間関係とコミュニケーション」のチームマネジメントの時間を増やしたことである。
- (委員) チームマネジメントを学んだ介護福祉士が職員になってもらえることはありがたい。多職種との関わりの中でどうしても壁がしやすい部分もあるので、それを取り払うことが重要である。
- (委員) 介護現場を見ていると、看護の現場と比べて連携がとれていないわけではないがまだまだと感じる部分もある。学校でチームマネジメントの知識を学んでいただけると今以上にスムーズに協力体制がとれるのではないかな。
- (委員) 専門性に拘りすぎるとチームに支障がでてくると思うので役割分担を加味して行うのがいいのではないかな。

(委員) 多職種連携という点について、コロナ禍において現場からはこういった機会を設けてほしいという声が根強くあり、行政として今月より再開する運びとなった。こういう時だからこそ多職種での意見交換を行う必要があるのではないかと考えている。専門職の方は現場経験豊富な方も多く、時には年上の方やベテランの方がそれぞれ専門職としてのプライドもある中、意見を言い合わなければならない。相手への伝え方などを学ぶことによってより良い方向に向かっていくと思うので、学校でチームマネジメントを学ぶ機会があることはいいことではないか。

(学校) チームマネジメントの教科書の中に介護福祉士のキャリアアップについての記載があり、各施設ではどのようにキャリアアップをされているのかお聞きしたい。

(委員) 当施設では、副主任と主任は介護福祉士の有資格者でないとお願いしていない。養成校で医療的ケアを学んでいただいているので看護師と連携し喀痰吸引を少し出来るようになってきている。給与面においても目に見えるものと見えないものがあるが、資格を持っていない人との差別化を図っている。ケアマネージャーも視野に入れる職員もいるので道が広がっていく。

(委員) 無資格や初任者研修修了等の職員には、介護福祉士資格の取得を推奨している。介護福祉士の資格を持っていると給料に差がつくのはもちろん、施設としても有資格者が増えることは重要なことである。

(委員) 当施設では、約85%の職員が介護福祉士の有資格者である。本人の希望を叶えられるように調整をしながらキャリア化をはかっている。

(委員) 行政では、職員採用の段階においていろいろな勉強をしてきた方が試験を受けてくる。介護現場としては福祉を制度的に学んできた方に行政職員になって欲しいという思いがあると思うが、行政職員はずっと福祉の仕事だけに就けるわけではないという実情がある。

(学校) 行政職員に介護福祉士が増えたほうが良いと感じているか。

(委員) 両面ある。行政職員として介護の知識を持っている人が欲しい反面、介護の勉強をしてきた方が事務的な仕事が多い行政業務の中で、学んできたことがストレートに仕事に生かせるのかという思いもある。

(学校) 医療的ケアについて、学生が学校で学んでいるのは基礎研修の部分だけである。実際に介護現場で医療的ケアを行えるかという実地研修がかなり長い時間あり、それをクリアしないと現場で医療的ケアは行えない。実際に介護の現場で介護福祉士が医療的ケアを行っているのか知りたい。

(委員) 当施設では、看護師と連携しながら実施しており、24時間できるような職員配置をしている。基礎研修を修了している方には優先的に施設内の研修に参加するようにしている。

- (委員) 当施設では、介護福祉士の有資格者が約60%おり、経管栄養の取り外しや喀痰吸引は17時半まで看護師が行い、それ以降の時間は介護職員が行っている。
- (委員) 当施設では、薬剤師や訪問看護の方が定期的に来られるので、時間をつくって月1回程度出来るときにレクチャーしていただいている。実践でいうと指示を仰いだり、訪問の医師の方に聞いたりしている。医療的ケアというところではまだまだ課題がある。
- (委員) 初任者研修について、高校卒業後すぐに就職した方は行かせている。他で仕事経験もなく介護をやりたいといっても何かを学んできているわけではないので。それ以外で介護の資格を持っていない方が就職した際には、ある程度現場で経験積んでもらって実務者研修に行ってもらっている。医療的ケアも入ってくるのと3年間の実務経験を経て介護福祉士資格取得というところもある。
- (委員) 今年度から基礎研修のようなものを受けなければ無資格で施設において働けなくなった。研修はオンラインで見てとれるものであり、比較的簡単なものである。
- (学校) 埼玉県では高校のカリキュラムの中で介護福祉士を養成するのが難しくなっている。学ぶ内容が増えた結果、夏休みがほとんどなくなってしまいう状況である。
- (委員) 千葉県内に福祉コースのある高校では、生徒さんは夏休み中ずっと学校で勉強しているイメージである。またその高校では初任者研修を取得して卒業するコースがあり、1クラスだけ介護福祉士課程のクラスもある。そのクラスでは国家試験に合格すれば介護福祉士を取得することができる。クラスの半分は看護の学校などに進学し、初任者研修の方は介護福祉士の専門学校に進学する流れである。
- (学校) 行政という立場で本校に何かアドバイスはありますか。
- (委員) カリキュラム等を見させていただき、現状でも十分役割を果たされていると思う。
- (委員) 養成校は確実に必要であると思う。3Kの介護のイメージが改善すれば充実した貸付制度もある。
- (学校) 本校の学生に実習や就職等で触れていただいている中で、介護技術の部分や介護の知識・心構え等でもう少し吉川福祉の学生に強めてもらいたいところなどの助言をいただきたい。
- (委員) 要望は特にない。何名か卒業生が就職しており業務以外でも考え方がしっかりしている。実習に来たときには実習でしか味わえない、学校で学んだことを楽しみながらやっていただきたい。実習で介護の仕事を嫌いになってほしくないの、いいところだけを持ち帰ってもらえればと思う。いろいろな養成校とお付き合いがあって、メンタルが弱い学生さんもある。別の養成校の学生さんの中に、受け入れの段階

では情報がなかったが、実習開始後にその学生さんから「鬱なんです」と言われ、指導に少し困ったことがあった。学生さんの情報が事前に分かっていたら施設側としてももう少し準備ができるが、今は個人情報等の問題もあり、事前の周知がなかなか難しいかもしれないが可能な範囲で教えていただきたいという思いがある。

(委員) 当施設では、既存の職員に対して新しく入った職員や実習生に丁寧に教えるように指導しており、何か問題があれば教えている職員に指導が入る。成熟していない施設や新しい施設だと教える余裕がないところがあるので、そこで自分がそういう経験を糧に教える側にたてるような人材に育ってほしい。

(委員) 特に要望はないが実習生として年配の方が来ると年下の職員が遠慮しがちになる。学生というところを意識してもらえればと思う。

(委員) 福祉に携わっている方を見ていて、生き生きと仕事をされていると感じる。元気がある方がいい雰囲気で楽しそうに仕事をしている。一つひとつの仕事は大変だと思うが、まずは元気を持ていただきたい。あとは理屈と情の部分というか、法令や基準などを学ばなければならない一方で、現場で直面する課題やその通りにいかないことにたくさんぶつかる。生真面目すぎる方は疲れてしまったり反対に適當すぎる方は問題を大きくしてしまったりとバランスは難しいと思うが、学校で学べることや実習先で学べることもたくさんあるが割り切りも学んでいかななくてはならないのではないかと思います。